

2011 年度後期 貿易論 期末試験

[第1問]次の文章を読み、以下の問題(問1～11)に解答しなさい。解答は解答用紙(貿易論)に記述すること。

(問1～問10 各2点、問11 10点)

2011年11月11日、野田首相は㉑ 環太平洋経済連携協定(TPP)の交渉参加を表明した。その前日の11月10日(現地時間9日)、ジュネーブでは、㉒ 世界貿易機関(WTO)への㉓ Aの加盟が、申請から18年後に合意された。前者は㉔ 地域貿易協定への期待を、後者はWTO多角的貿易システムへの期待を表現するものである。この2つの期待の潮流は渦巻きながら新年にも流れ込んだ。

TPPなどの地域貿易協定の狙いは、㉕ WTOルールに加え、そしてまたそれを越えて投資などを含むビジネス環境を特定国間で整備することにある。そのような地域貿易協定の締結数(累積)は、2001年の98件から2011年11月には233件へと激増している。今回の(拡大)TPP協定への動きは、二国間だけでなく多国間での新たな貿易投資協定がますます拡大し増殖することを予想させる。世界経済は、これまで以上にさまざまな㉖ 広域にまたがる地域貿易協定が錯綜する構図になるであろう。

これとは対照的に、153か国・地域が参加するWTOの多角的貿易交渉㉗ ドーハ・ラウンドは難航し、2001年の開始から10年後の現在でも未だ妥結に至っていない。㉘ WTO事務局長ラミー氏自ら、悲痛にも、「WTOの交渉機能は麻痺してしまった」(2011年7月)と慨嘆するほどである。

しかし、交渉は依然として継続している。交渉機能の麻痺から、WTOの多角的貿易システムは過去のものとなり、21世紀は地域貿易協定の時代だと結論するのは早計であろう。

そこで見落としてならないことは、麻痺的なドーハ・ラウンドの10年間において、中国経済が驚異的に発展したことである。中国のWTO加盟は、正しく、2001年であった。この10年間に㉙ 中国のGDPは B 倍になり、輸出は C 倍となった。今や、中国は世界第2の経済大国、世界最大の貿易国である。㉚ WTO加盟が中国の大発展をもたらし、それが世界の諸国の経済拡大を牽引した、と言っても過言ではない。

WTOルールにもとづく多角的で自由な国際貿易の管理、このWTOの任務は、不断に遂行されていることを忘れてはならない。今回の A のWTO加盟も、多角的で自由な国際市場を利用して A の資源配分を効率化し、 A 自身の経済発展、そして世界経済の発展に貢献するであろう。

地域貿易協定(地域主義)とWTO(多角主義)、この渦巻く潮流の中でバランスを図り、巧みに操作・統治することが、今後の世界経済の発展にとって重要な課題である。端的に言えば、錯綜するさまざまな地域経済協定にグローバルな視点から重層的な秩序を確立すること、WTO機能の伸縮的な拡大と強化、そこにWTOの新しい課題があり、また ㉛ 日本の果たすべき役割があるのではないだろうか。

(池間誠(2012)「TPP、そしてWTO」『世界経済評論』Vol.56 No.1 p.7より引用、加筆)

問1 下線部㉑環太平洋経済連携協定(TPP)に関する記述として適当でないものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① TPPは2006年にシンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイで締結したFTAが端緒である。
- ② 現在TPPは、21の交渉分野があり、市場アクセス、政府調達、原産地規制、知的財産権などの部会がある。
- ③ 日本でTPPに反対する農業関係者の多くが、食料自給率の低下と戸別所得補償制度の導入を理由としている。
- ④ 日本におけるTPPの効果・影響についての試算は、内閣府、経済産業省、農林水産省でデータが異なっている。
- ⑤ 日本政府は、TPPに対して「交渉参加」を表明したが、必ずしも「協定参加」を意味するものではない。

問2 下線部㉒世界貿易機関(WTO)の記述として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① WTOでは、最恵国待遇を原則としている。
- ② WTOでは、セーフガード(緊急輸入制限)の発動要件を緩和している。
- ③ WTOでは、補助金をレッド、イエロー、グリーンに区分し、グリーンの場合のみ相殺関税を認めている。
- ④ WTOでは、原産地規制を原則認めていない。
- ⑤ WTOでは、紛争解決機関として国際裁判所を開設している。

問3 下線部㉓ Aに入る国名を次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 日本、 ② ブラジル、 ③ ロシア、 ④ インド、 ⑤ 南アフリカ

問4 下線部 **㉔** 地域貿易協定 へに関する記述として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ①日本の EPA は、貿易以外の分野に人の移動や投資、政府調達、二カ国間協力等包括的な協定である。
- ②ギリシャの経済危機は、EUにも飛び火しユーロの下落を誘発したので、ギリシャはユーロ圏を離脱した
- ③ NAFTA は、米国を中心にキューバを除く北米の国々が参加している関税同盟である。
- ④貿易創造効果とは、地域統合加盟国の購買力が強化され、域外からの輸入価格を押し下げる効果である。
- ⑤バロッサは、FTA を4段階に分け、最も統合度が高い段階を「共同市場」段階とした。

問5 下線部 **㉕** WTO ルール に関する記述として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ①多角的自由化を目的としている WTO は、FTA をブロック経済化のおそれがあるとして警鐘を鳴らしている。
- ② FTA は最恵国待遇に本来反するが、WTO では、その貿易自由化効果ゆえに、一定の条件の下で認めている。
- ③ GATT 第 24 条で FTA の要件として、構成国間の「実質上全ての貿易」について関税等の廃止を規定している。
- ④主要国間の FTA では、貿易量の概ね 95 %の自由化を達成し、特定の分野を丸ごと除外してはいけないとしている。
- ⑤サービス貿易に関する一般協定(GATS)では、実質的に全ての差別を合理的な期間内の撤廃を規定している。

問6 下線部 **㉖** 広域にまたがる地域貿易協定 に関する記述として適当でないものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① AFTA (ASEAN FTA) は、日中韓だけではなくインドやオーストラリア、ニュージーランドまで範囲を拡大している。
- ②米州自由貿易地域(FTAA) は、NAFTA、メルコスール、アンデス共同体など FTA 単位での参加により締結された。
- ③ EU は発足当初は 15 カ国から現在 27 カ国まで拡大し、1999 年ユーロが発足し現在 15 カ国で採用されている。
- ④韓国は、ASEAN、EU、米国との FTA を締結している。
- ⑤日本は、FTA を EPA と位置づけ、現在アジア以外ではメキシコとスイスと締結している

問7 下線部 **㉗** ドーハ・ラウンド に関する記述として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ①ドーハラウンドとは、複数の交渉分野での一括受諾を目指す 2001 年のドーハで行われた閣僚会議での議決である。
- ②ドーハ開発アジェンダとは、8つの交渉分野からなっているが、加盟国の拡大により交渉が難航している。
- ③非農産品市場アクセス交渉は NAMA と略され、分野別関税や NTB の削減、撤廃が交渉の中心となっている。
- ④農業分野では、関税撤廃や補助金削減などで各国の立場の違いから対立し、合意のめどが立っていない。
- ⑤ドーハラウンドの次に開催されカンクンラウンドでは、TRIPS (知的財産権)の分野で先行して合意がなされた。

問8 下線部 **㉘** WTO 事務局長ラミー氏の発言 に関する記述として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 1999 年のシアトル・ラウンドで失敗した新ラウンド開始を決定する閣僚宣言を行った。
- ②ドーハ・ラウンドは 10 年間の交渉期間を経て 2011 年 1 月 1 日に新ラウンドを施行した。
- ③ドーハ・ラウンドの交渉のうち農業問題は、市場アクセス、補助金などの問題があったが、削減で合意した。
- ④ドーハ・ラウンドの交渉を発展的に解消し、地域貿易協定(RTA)に基づく交渉を行うことにした。
- ⑤ドーハラウンドの一括合意を諦め部分合意を目指していたが、米国と中国などの新興国の対立が大きく断念した。

問9 下線部 **㉙** の **B** と **C** 由に入る正しい数字の組み合わせを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ①

B

 4 、

C

 2
- ②

B

 4 、

C

 6
- ③

B

 40 、

C

 20
- ④

B

 40 、

C

 60
- ⑤

B

 40 、

C

 -2

問10 下線部 **㉚** 「WTO 加盟が中国の大発展をもたらす」に関する記述として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 2001 ドーハで行われた WTO 閣僚会議で中国の加盟が認められた。
- ②中国の WTO 加盟により、関税が引き下げられて、貿易が活性化した。
- ③中国の WTO 加盟以降、日中、米中間の貿易量は増大した。
- ④中国の WTO 加盟により、中国における知的財産権の管理は WTO が行うことになった。
- ⑤現在、中国の GDP は購買力平価ベースで見ると日本の2倍以上になっている。。

問11 下線部 **㉛** 日本の果たすべき役割 について、文脈を踏まえてあなたの考えを 10 行程度で論述しなさい。

[第2問]以下の問題に答えなさい。解答は、解答用紙(貿易論)に記述すること(各5点)

問1 以下の条件の時、A国の比較優位財は何か、また、貿易利益を求めなさい。

	A国	B国
小麦(ブツェル/労働時間)	6	1
布(ヤード/労働時間)	4	3

問2 A国は原価500円の加工品Bを輸入している。加工品Bに使用する原材料Cは300円である。また、A国の関税は加工品Bに対して30%、原材料Cに対して10%である。この時、A国の加工品Bの名目関税と有効保護率(実効関税率)を求めなさい。

[第3問]以下の問題から1つ選び、10行程度で論述しなさい。解答は、解答用紙(貿易論)に記述すること。(10点)

- ①コピー商品と貿易関連知的財産権(TRIPS)協定について
- ②東日本大震災とグローバル・ネットワークについて
- ③昨日の円相場と最近の円高について
- ④ソブリンショックについて
- ⑤インコタームズ2010について
- ⑥パラダイム・シフトについて
- ⑦企業の為替リスク対応戦略について

[第4問]以下の語群から、5つ以上の用語を用いて、論述しなさい。(40点)

なお、必ずテーマを明記し、使用した用語には下線を引くこと。

論述にあつたて図表を用いても良いが、箇条書き、単なる語句説明は不可とする。

(解答は、大学所定の解答用紙に記述すること)

(語群)

所得収支 成熟債権国 規模の経済 外貨準備 世界銀行 規制緩和 為替介入 原発事故 貿易収支赤字
交渉分野 購買力平価 自由貿易圏 助成金 現地調達 貿易転換効果 市場原理主義 変種変量 自由放任
弾力化 固定レート 輸出競争力 労働集約財 関税交渉 輸出依存度 高付加価値品 通貨統合 通貨高
米国債 経常収支 双子の赤字 原産地規制 移転価格 要素賦存 並行輸入 立地競争力 居住性
市場の不完全性 コンテンツ産業 円キャリー 人民元 ペッグ制 経済パートナーシップ プラザ合意
ホスト国 市場アクセス アームスレングス価格 貿易円滑化ルール バイ・アメリカン条項 サービス貿易
ゼロイング チャイナ・プラス・ワン ポピュリズム フェアトレード セーフティーネット クローサー デフレ
タックスヘブン ニクソンショック ラウンド インボイス アンチダンピング
APEC NTB PLC TRIPS AFTA LDCs EPA BOP NPO FTAAP MOP QCD NAMA